

## 「子どもの育ちや学びの姿 振り返りアンケート」の活用等について

### ★実施方法★

個々の子どもの姿を思い浮かべ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の項目に基づき、次のとおり4件法で点数をつけます。

- ・ 4 よくみられる・・・3点
- ・ 3 みられる・・・2点
- ・ 2 時々みられる・・・1点
- ・ 1 みられない・・・0点

点数をつけた後、グラフ化することによって可視化され、把握しやすくなります。ただし、得点が高いほどその姿がよく見られるということであって、到達状況ではないということを十分ご理解ください。

### ★実施時期等★

調査は、5歳児クラスの1学期と卒園前の2回行うことが望ましいです。

1回目の調査後、子どもの経験の特徴を把握してください。

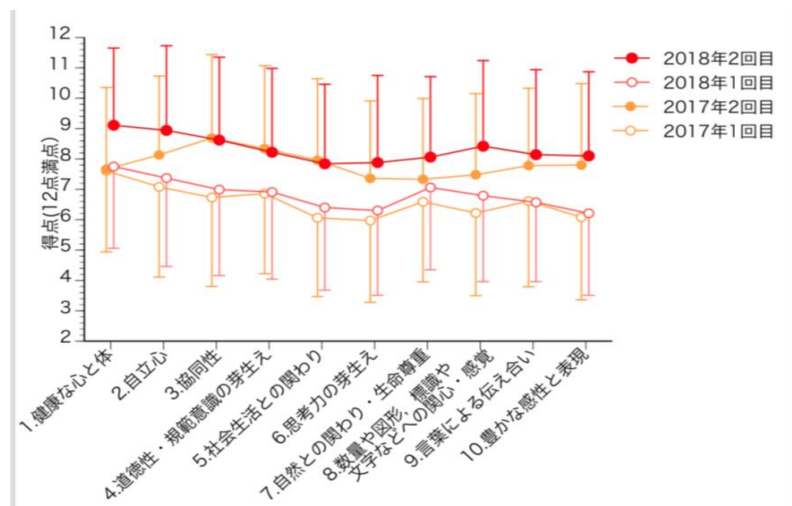
また、卒園前の調査により、1年間の子どもの成長の伸びを確認することができ、子どもの育ちや学びの姿を把握し、進級にあたっての省察をすることができます。

### ★保育者の振り返り資料としての活用★

グラフ化によって個々の姿を把握し、日頃の援助工夫に役立てることができます。

また、個々の子どものデータを全体集計し、クラス全体の傾向をつかむことによって、クラスの教育・保育内容の工夫に活かすことができます。

「子どもの育ちや学びの姿 アンケート」結果 グラフ化の例



### ★園内研修における活用★

クラスの傾向を把握し、さらに集約することで、園全体の特徴を把握し、分析することができます。園として、どのようなことが豊かな経験として蓄積されており、又は今後の教育・保育計画に意識されるべきか、実際の活動にどう反映すべきか等について、園内研修において議論することによって、カリキュラムマネジメントの推進を図ることができます。

### ★保護者との連携に活用★

グラフ化等によって子どもの姿を可視化した具体的な資料等を保護者に提示することで、環境を通じて子どもの主体性と自主性を重視した遊びと生活を中心とする教育・保育についての認識を深めてもらい、共通理解のもと、教育・保育に取り組むことができます。